

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年10月8日(2009.10.8)

【公開番号】特開2009-50711(P2009-50711A)

【公開日】平成21年3月12日(2009.3.12)

【年通号数】公開・登録公報2009-010

【出願番号】特願2008-257752(P2008-257752)

【国際特許分類】

A 6 1 J 3/00 (2006.01)

B 6 5 D 81/32 (2006.01)

【F I】

A 6 1 J 3/00 3 1 2

A 6 1 J 3/00 3 1 4 B

B 6 5 D 81/32 T

【手続補正書】

【提出日】平成21年5月1日(2009.5.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の容器 (3) に收容された第 1 の液状媒体と第 2 の容器 (7) に收容された第 2 の媒体とを混合することによって医療用液体を再調合するためのパック (7 0) であって、

前記第 1 および第 2 の容器を保持する手段と、前記容器を液体連通させる液体輸送手段 (1 4 0) であって、前記第 2 の容器の閉鎖部 (2 4) を貫通させるための第 1 先端部と、前記第 1 の容器の閉鎖部 (2 3) を貫通させるための第 2 先端部とを有する両先端針 (1 0) を含む液体輸送手段と、液体再調合前、中および後に前記針の第 1 先端部から使用者を遮蔽する手段とを有し、

前記針の第 1 先端部に対する保護部材を備え、前記針の第 1 先端部と第 2 の容器の閉鎖部が当接させられるときに、前記針の第 1 先端部が前記保護部材と前記第 2 の容器の閉鎖部の両方を貫通するように構成され、前記保護部材は、前記第 2 の容器 (7) によって前記針 (1 0) の第 1 先端部に押しつけられるように構成されていることを特徴とするパック。

【請求項 2】

第 1 の容器 (3) に收容された第 1 の液状媒体と第 2 の容器 (7) に收容された第 2 の媒体とを混合することによって医療用液体を再調合するためのパック (7 0) であって、

前記第 1 および第 2 の容器を保持する手段と、前記容器を液体連通させる液体輸送手段 (1 4 0) であって、前記第 2 の容器の閉鎖部 (2 4) を貫通させるための第 1 先端部と、前記第 1 の容器の閉鎖部 (2 3) を貫通させるための第 2 先端部とを有する両先端針 (1 0) を含む液体輸送手段とを有し、前記第 2 の容器の閉鎖部の貫通前において、前記前記針の第 1 先端部は、常に無菌状態に保たれ、

前記針の第 1 先端部に対する保護部材を備え、前記針の第 1 先端部と第 2 の容器の閉鎖部が当接させられるときに、前記針の第 1 先端部が前記保護部材と前記第 2 の容器の閉鎖部の両方を貫通するように構成され、前記保護部材は、前記第 2 の容器 (7) によって前記針 (1 0) の第 1 先端部に押しつけられるように構成されていることを特徴とするパック。

【請求項 3】

前記保護部材が、前記針（10）の第1先端部の外装である、請求項1または2に記載のバック。

【請求項 4】

前記保護部材が、栓（145）である請求項1または2に記載のバック。

【請求項 5】

前記栓（145）が押されるとき、前記針（10）の第1先端部のまわりの無菌環境から気体を排出するピース（147）を有する、請求項4に記載のバック。

【請求項 6】

前記液体輸送手段（140）が、一端に第1の容器（3）を、他端に第2の容器（7）を受け入れるための管状のハウジングに配置されている、請求項1から5のいずれかに記載のバック。

【請求項 7】

前記第2の容器（7）を着脱可能に保持するよう構成された、請求項1から6のいずれかに記載バック。

【請求項 8】

前記針（10）の第2先端部は、前記第1の容器（3）の閉鎖部の貫通前は、常に無菌環境に維持されるように構成された、請求項1から7のいずれかに記載のバック。

【請求項 9】

前記針の第2先端部に対する保護部材を備え、前記針の第2先端部と第1の容器の閉鎖部が当接させられるときに、前記針の第2先端部が前記保護部材と前記第1の容器の閉鎖部の両方を貫通するように構成された請求項1から8のいずれかに記載のバック。

【請求項 10】

前記針の第2先端部に対する保護部材が、前記針（10）の第2先端部の外装である、請求項9に記載のバック。

【請求項 11】

前記針の第2先端部に対する保護部材が、栓（146）である請求項9に記載のバック

。